

高橋鷹藏 著 牧師。元治元年越後國生れ、大正十一年歿（一八六四—一九三三）。十七歳の折出郷、放浪の末ギリシヤ正教の傳道師となる。のち新島襄の組合派の牧師、明治二十一年同志社に入局。その後牧師となり各地で布教活動。四十二年朝鮮に渡り、平壤教會の牧師として十餘年、大正八年の反日運動で投獄せられた信徒救済に赴いた京都で急死。東京深川ハルンペン村を建てるなど貧民救済に當つた詩人傳道師高橋元一郎はその長男。

著書に、『修養瑣言』（大正五年七月十五日北文館）等。

